

専門医が365日24時間体制で あらゆる循環器救急疾患に対応



毎日の健康から救命救急まで。

ひとりでも多くの方に安心をお届けする。

私たちは、地域とともに

みなさまの健康をサポートします。

まいにちから、
まんいちまで。

札幌市の中心部からほど近い山の手地区にあり「人と自然の健康と調和を大切にする医療を実践します」を基本理念とする。災害拠点病院の指定を受け、2018年9月の北海道胆振東部地震ではDMAT(急性期災害医療支援チーム)、初動医療班、心のケアチームを派遣し、医療支援を行った。臨床研究部では難病や希少疾患の先進的研究と治験の推進を図っている。病床数500床、30診療科。駐車場220台完備



①循環器内科スタッフ
②カテーテル治療の様子

循環器内科では救急科・心臓血管外科と連携して365日24時間体制で急性心筋梗塞などの救急医療に当たっている。常勤医9人全員が学会認定循環器専門医であり、一刻を争う緊急治療に精通している。また、最近増加している高齢者の心不全も、認知症などの有無を問わず地域医療機関のニーズに
応え受け入れている。

循環器内科では救急科・心臓血管外科と連携して365日24時間体制で急性心筋梗塞などの救急医療に当たっている。常勤医9人全員が学会認定循環器専門医であり、一刻を争う緊急治療に精通している。また、最近増加している高齢者の心不全も、認知症などの有無を問わず地域医療機関のニーズに
応え受け入れている。

北海道医療センターは500床を有し、30診療科を備えた総合病院。災害医療や急性期医療の拠点として3次救命救急センターを設置し、24時間の救命医療を受け持つ一方、神経難病、結核、精神科身体合併症、小児慢性疾患などの政策医療も担っている。また、地域医療支援病院の指定を受けており、地域と一体となった医療システムを構築し、日頃の連携はもちろん、まんいちの際にはいつでも受け入れが可能な体制をとっている。

日常診療では、各分野の専門医が根拠に基づいた最善の医療を提供している。冠動脈カテーテル治療では血管内超音波や光干渉断層法などの画像診断を併用し、必要に応じてロータブレーター・方向性アテレクトミーなどを行い、治療成績の向上・予後改善を目指している。下肢末梢血管疾患も足潰瘍・壊疽(えそ)などの重症例まで積極的に治療しており、薬物療法・血管内治療に加え、心臓血管外科・皮膚科・形成外科などの院内連携により創傷治療や外科的治療が可能である。不整脈治療ではカテーテルアブレーションの経験数が1300例を超え、その中で7割以上を占める心房細動には手術時間が短い冷凍バルーンを用いたアブレーションを行っている。また、植込み型心電計やリードレスペースメーカー、皮下植込み型除細動器など、新しい診断・治療法に積極的に取り組んでいる。

院長 菊地 誠志氏
北海道大学医学部卒業。日本神経学会専門医・指導医・代議員。日本神経免疫学会理事。日本神経治療学会評議員。日本認知症学会専門医・指導医など。医学博士

副院長 長尾 雅悦氏
札幌医科大学卒業。日本小児科学会専門医。臨床遺伝専門医。医学博士

内科系 診療部長 竹中 孝氏
旭川医大卒業。日本循環器学会専門医。日本心臓血管インターベンション治療学会名誉専門医。日本高血圧学会専門医・指導医。日本不整脈学会CRT/ICD認定医。日本内科学会認定・指導医ほか

内科・糖尿病/脂質代謝内科・腎臓内科・心療内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・脳神経内科・小児科・精神科・皮膚科・形成外科・眼科・耳鼻いんこう科・アレルギー科・リウマチ科・血液内科・放射線科・外科・心臓血管外科・小児外科・呼吸器外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・婦人科・リハビリテーション科・麻酔科・救急科・病理診断科

独立行政法人 国立病院機構
北海道医療センター

☎011-611-8111
札幌市西区山の手5条7丁目1-1
<https://hokkaido-mc.hosp.go.jp/>

診療受付時間/
月～金 8:30～11:00 13:00～15:00 (一部の科のみ) ※初診については原則紹介制、再診については予約制となっております。各科・曜日により異なるため事前にご確認ください
休診日/土曜・日曜・祝日
最寄りアクセス/
JR北海道バス北海道医療センター前停留所下車、地下鉄東西線琴似駅から徒歩約20分